



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月9日

上場会社名 株式会社 プレナス 上場取引所 東
 コード番号 9945 URL <http://www.plenus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩井 辰男
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 丸山 俊也 (TEL) 092(452)3678
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	35,025	17.5	1,554	31.5	1,651	21.9	899	—
24年2月期第1四半期	29,816	△2.0	1,182	1.9	1,354	5.9	△266	—

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 892百万円(—%) 24年2月期第1四半期 △269百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年2月期第1四半期	23	53	23	52
24年2月期第1四半期	△6	99	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	77,987	—	56,122	—	71.8	—
24年2月期	78,505	—	56,185	—	71.4	—

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 56,026百万円 24年2月期 56,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年2月期	—	25 00	—	25 00	50 00	—
25年2月期	—	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	25 00	—	25 00	50 00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	69,600	13.8	3,500	30.9	3,600	23.1	1,900	242.2	49	72
通期	144,800	14.0	7,800	24.3	8,000	19.5	4,100	109.1	107	30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年2月期1Q	44,392,680株	24年2月期	44,392,680株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年2月期1Q	6,182,480株	24年2月期	6,182,480株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期1Q	38,210,200株	24年2月期1Q	38,210,200株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(4) セグメント情報等	P. 10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務危機を背景とする海外景気の減速等、先行き不透明な状況が続きました。

当外食産業におきましては、昨年3月の震災の影響の反動もあり、個人消費が緩やかに増加する等、総じて回復基調のもと推移いたしました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、さらに幅広い層のお客様にご支持いただけるよう商品力の強化を図ると共に、引き続き店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上に努めました。

店舗展開につきましては、出店余地が大きい近畿・東海エリアを中心に新規出店を32店舗、退店を11店舗行い、店舗数は2,803店舗となりました。また、改装・移転につきましては、24店舗実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、350億25百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は15億54百万円(前年同期比31.5%増)、経常利益は16億51百万円(前年同期比21.9%増)、四半期純利益は8億99百万円(前年同期は2億66百万円の四半期純損失)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が昨年度の震災の影響による消費の冷え込みから回復したことに加えて、新規出店により店舗数が増加したため、前年同期実績を大きく上回りました。営業利益、経常利益につきましては、仕入れコストの増加等があったものの、売上高の増加により前年同期実績を上回りました。なお、四半期純利益につきましては、前年同期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失を計上したこともあり、大幅な増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、従来の商品の提供スタイルや内容等で区分していた報告セグメントを、セグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的に、「ほっともっと」・「やよい軒」・「しゃぶしゃぶダイニングMK」の3ブランドによる事業展開に合わせて「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」及び「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」へと変更いたしました。この結果、「持ち帰り弁当事業」を「ほっともっと事業」に、「定食事業」を「やよい軒事業」に、「その他」から「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」に係るものを区分掲記するように変更いたしました。

以上により、各セグメントの業績の前年同期比較は、前年同期実績を変更後の報告セグメントに組替えたうえで計算しています。

【ほっともっと事業】

「幕の内弁当」等の定番商品を、さらに幅広い層のお客様にご利用いただくことを目指し、「幕の内弁当炊き込みごはん無料変更サービス」を実施すると共に、女性やヘルシー志向のお客様のニーズに対応した「花・幕の内弁当」を発売いたしました。さらに、一部商品の価格の見直しや、「塩から揚弁当」を改めてお客様に訴求することを目的としたキャンペーンの実施等、定番商品の強化に努めました。これらのことにより、既存店売上高は、前年同期比108.3%となりました。

店舗展開につきましては、出店余地が大きい近畿・東海エリアを中心に、新規出店を25店舗行うと共に、不採算店舗の退店を9店舗行った結果、店舗数は16店舗増加し、2,582店舗となりました。改装・移転につきましては、22店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は、293億26百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は13億73百万円(前年同期比32.5%増)となりました。

【やよい軒事業】

食材や商品のボリュームにこだわったメニューをご提供すると共に、季節感を取り入れたメニューを発売することにより、お客様の満足度を高めて、他店との差別化を図りました。また、テレビCMを放映し「やよい軒」の認知度を高めて新規顧客の獲得を図ると共に、キャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

これらのことにより、既存店売上高は、前年同期比103.8%となりました。

店舗数につきましては、新規出店を6店舗行い、196店舗となりました。なお、改装を2店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は49億59百万円(前年同期比17.8%増)、営業利益は2億10百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

【しゃぶしゃぶダイニングMK事業】

季節に合わせたメニューを発売し、メニューの幅を広げると共に、カード会員向けに販売促進活動を行う等、既存顧客の来店促進を図りました。また、店舗のQSCのさらなる向上に努めた結果、既存店売上高は、前年同期比103.8%となりました。

店舗数につきましては、新規出店を1店舗行い、25店舗となりました。

以上の結果、売上高は7億37百万円(前年同期比28.7%増)、営業利益は5百万円(前年同期は37百万円の営業損失)となりました。

【その他】

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。売上高は2百万円(前年同期比87.9%減)、営業損失は2百万円(前年同期は2百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億18百万円減少し、779億87百万円となりました。内訳は、流動資産が11億19百万円減少したこと及び固定資産が6億円増加したこととあります。流動資産の減少は、現金及び預金が14億55百万円減少したこと、受取手形及び売掛金が1億48百万円減少したこと、未収入金が2億4百万円減少したこと、商品及び製品が4億83百万円増加したこと、前払費用が1億27百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、主に、有形固定資産が4億58百万円増加したこと及び差入保証金が1億32百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億55百万円減少し、218億64百万円となりました。内訳は、流動負債が5億19百万円減少したこと及び固定負債が63百万円増加したこととあります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金が4億13百万円増加したこと、賞与引当金が3億72百万円増加したこと、未払法人税等が8億58百万円減少したこと、預り金が3億76百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債の増加は、資産除去債務が71百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ62百万円減少し、561億22百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により8億99百万円増加し、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年4月13日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,805	21,349
受取手形及び売掛金	3,058	2,909
商品及び製品	4,839	5,322
原材料及び貯蔵品	91	119
その他	2,781	2,743
貸倒引当金	△500	△489
流動資産合計	33,074	31,955
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,801	21,958
土地	7,188	7,188
その他(純額)	2,164	2,465
有形固定資産合計	31,155	31,613
無形固定資産	494	493
投資その他の資産		
差入保証金	6,446	6,579
その他	7,354	7,364
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	13,781	13,925
固定資産合計	45,431	46,031
資産合計	78,505	77,987
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,019	5,433
未払法人税等	1,611	752
賞与引当金	284	657
ポイント引当金	82	86
株主優待引当金	120	82
資産除去債務	8	2
その他	7,176	6,769
流動負債合計	14,303	13,783
固定負債		
資産除去債務	3,550	3,622
その他	4,466	4,458
固定負債合計	8,017	8,080
負債合計	22,320	21,864

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,922	4,922
利益剰余金	59,771	59,715
自己株式	△12,050	△12,050
株主資本合計	56,104	56,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△22
その他の包括利益累計額合計	△16	△22
新株予約権	96	96
純資産合計	56,185	56,122
負債純資産合計	78,505	77,987

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	29,816	35,025
売上原価	14,075	16,835
売上総利益	15,741	18,190
販売費及び一般管理費	14,558	16,635
営業利益	1,182	1,554
営業外収益		
受取利息	18	17
受取配当金	0	0
固定資産賃貸料	38	36
補助金収入	17	13
受取補償金	92	11
持分法による投資利益	2	0
その他	34	44
営業外収益合計	204	125
営業外費用		
固定資産賃貸費用	15	13
賃貸借契約解約損	8	0
その他	8	14
営業外費用合計	32	29
経常利益	1,354	1,651
特別利益		
固定資産売却益	7	0
貸倒引当金戻入額	0	—
災害見舞金受取額	200	—
特別利益合計	208	0
特別損失		
固定資産処分損	43	16
減損損失	—	1
災害義援金等	74	20
災害による損失	201	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,643	—
その他	0	1
特別損失合計	1,963	38
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△400	1,613
法人税等	△133	713
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△266	899
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△266	899

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△266	899
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△6
その他の包括利益合計	△2	△6
四半期包括利益	△269	892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△269	892
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	25,011	4,210	572	29,794	22	29,816	—	29,816
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	—	0	△0	—
計	25,011	4,210	572	29,794	22	29,816	△0	29,816
セグメント利益又は損失 (△)	1,035	199	△37	1,198	2	1,200	△18	1,182

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	29,326	4,959	737	35,023	2	35,025	—	35,025
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	29,326	4,959	737	35,023	2	35,025	—	35,025
セグメント利益又は損失 (△)	1,373	210	5	1,588	△2	1,586	△31	1,554

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間より、従来の商品の提供スタイルや内容等で区分していた報告セグメントを、セグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的に、「ほっともっと」・「やよい軒」・「しゃぶしゃぶダイニングMK」の3ブランドによる事業展開に合わせて「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」及び「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」へと変更いたしました。この結果、「持ち帰り弁当事業」を「ほっともっと事業」に、「定食事業」を「やよい軒事業」に、「その他」から「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」に係るものを区分掲記するように変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。